

LIBERAL&DEMOCRATIC

自由民主

発行所
自由民主党本部
郵便番号 100-8910
東京都千代田区永田町1-11-23
電話 東京 03 (3581) 6211 (代表)
<毎週火曜日発行>



自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.jp/>

高橋かつのりさんの決意

国会議員になる前は「たんたん田んぼ」の高根沢町長を15年間務め、地方の置かれた厳しい環境を体感してきました。その経験から参議院議員としてあらゆる分野に精力的に取り組んできましたが、その目的は常に「地方を守り抜く」ことでした。

地方を守り抜くためには、政治が安定し、雇用などの経済環境が維持され、世界からも信頼される日本でなくてはなりません。さらに、これまで日本を席卷してきたお金だけがすべてという「市場原理主義」と決別する必要があります。

お金は大切だけれど、それと同じように人と人、人と自然との関係を大切にす国でありたいのです。そのような国であればこそ、地方を守り抜くことができるということは、12年間、参議院議員として学んできたことです。

自分の政治家としての原点は、「誰もが安心できる社会を作りたい、誰ひとり取り残さない栃木にしたい」ということです。その思いから、町長時代、不登校の子どものために、表面的な学校復帰を前提としない全国初の公設フリースペース「ひよこの家」を町につくり、今では不登校支援の全国モデルとなっています。

政治の役割は、弱い人を守り、支えることにあります。農林業、工業、商業を発展させることも、医療や福祉を充実させることも、すべて弱者を守るためにあります。地方経済が成長しなければ弱者を守ることはできません。だから、地方を守り抜いていかなくてはならないのです。



自由民主党は、日本の明日を切り拓き、その責任を果たします。本号外では政権与党の一員として社会保障、経済、地方創生、外交・安全保障など数々の政策実現に向けて活躍する高橋かつのり参議院議員を特集します。

地方こそ原点！！

国土交通副大臣／参議院議員

たか はし

高橋かつのりさん

高橋かつのりさんが考える「地方を守り抜く」ための政策

子に勝る宝なし

子ども・若者・子育て世代の視点に立った「子どもまんなか社会」を実現します。子どもの貧困と児童虐待を撲滅します。病児・病後児保育の充実、医療的ケア児を支援します。

安全こそ生活の原点

地方経済の成長に資するインフラ整備、防災・減災、国土強靱化を強力に推進し、頻発する災害にしっかりと備えます。栃木県のネットワーク道路の整備を積極的に推進します。

地域と小さな企業を元気にするために

企業の99.7%は中小企業・小規模事業者であり、地方の原点です。物価上昇に伴う価格転嫁をしっかりと進め、事業承継支援、スタートアップ支援、栃木県内への更なる投資を促進します。

物価高に負けない賃上げの実現

報酬や賃金が公定価格に基づく「医療、介護、保育、福祉分野」で働く方々の処遇改善に向け、公定価格の引き上げを含めた対策を打ち出していきます。

農業・林業は国の基(もと)

食料安全保障の確立と農林水産物の海外展開を支援します。農業経営者の皆さまを全力で支援し、お米の生産強化と価格安定を実現させます。畜産・酪農を全力で支援し、生産基盤を強化します。中山間地域の特色ある農業の振興、地域の重要な担い手である家族農業を活性化させます。

自衛隊に名誉と誇りを

自衛隊を日本国憲法9条に明記して「違憲論争」に終止符を打ち、私たちの命と平和な暮らしを守ってくれているすべての自衛隊員が誇りをもって任務に全うできる環境を整えます。

国体護持

「万世一系の皇統」は皇室と国民双方が互いに敬意をもって、相当な努力を重ね紡いできた日本の国柄・伝統です。これからも男系による安定的な皇位継承の流れをゆるがせにはなりません。「選択的夫婦別氏制度」は、子どもがどちらかの親と別姓になる「強制的親子別姓」を意味します。家族制度の基本はしっかりと守り、今ある不都合は「旧姓の通称使用」に法的根拠を与えることによって解消していくよう慎重に議論を重ねていきます。

高橋かつのり事務所

自由民主党栃木県参議院選挙区第二支部

〒320-0053 栃木県宇都宮市戸祭町2629

TEL:028-680-5583 FAX:028-622-6881

<https://www.katsunori.info>

facebook



instagram



LINE



